

アカバナ科 アカバナ属

ノダアカバナ (野田赤花)

Epilobium coloratum Biehler

自生環境

湿地、水辺、休耕田 など

原産地

北アメリカ

予想される被害

〔今のところ特になし〕

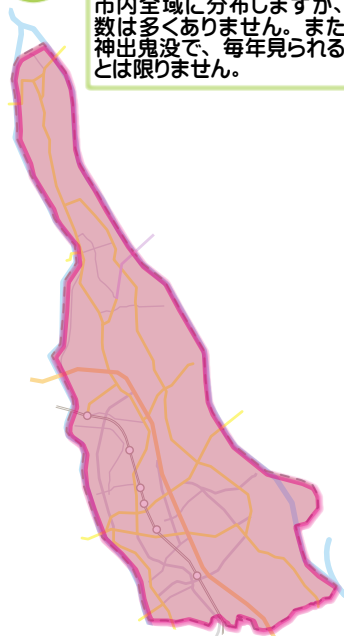
かなり前から定着しているようですが、現時点では生態系に悪影響を及ぼすほど繁殖している様子はありません。引き続き、今後の動向を見守る必要があります。

特徴

- ★最初に野田市で発見されたことからノダアカバナと名がつけました。長らくカラフトアカバナという既知の種類と同じだとする説が有力でしたが、最近、北アメリカに自生する *Epilobium coloratum* という別な種類だということが判明したようです。
- ★休耕田などの湿った場所に生え、草丈が 1m 近くにもなる多年草です。茎の上のほうが細かく枝分かれして、夏から秋にかけて小さな花を多数咲かせます。咲きはしめは白色ですが、時間とともに赤みがかかり、咲き終わるころにはピンク色になります。
- ★果実は細長い棒のようなかたちをしています。成熟すると裂けて、中から綿毛つきのタネが顔を出し、風とともに遠くに飛ばされていきます。綿毛は白ではなく、まるで銅のように赤茶色です。

市内の分布状況

市内全域に分布しますが、数は多くありません。また神出鬼没で、毎年見られるとは限りません。



ついに正体判明か

ノダアカバナは野田市で最初に発見されたことにちなみ「野田の地名入り植物」です。昔からありましたが、正体ははっきりせず、カラフトアカバナという種類と同じとされてきました。ところが神奈川県植物誌2018によると、カラフトアカバナではなく、北アメリカに自生する別の種類だということが判明。これに対する日本名は無いため、今後ノダアカバナという名前で呼ばれる可能性大です。



柱頭はマツチの頭やこん棒のようなかたち

ちやんと柱頭

茎は上部が細かく枝分かれする



タネの綿毛は赤茶色



冬は地上部が枯れ、根のみで過ごす。春になると再び芽を出す



葉は細長く、先がとがる



寒くなると全体が赤く色づく



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

